

兵庫県医師会医療支援チーム（第6陣）「宮城県災害支援現地報告」

常任理事 明石 恭治

今回は川島会長が2回目の現地入り。タクシーの中で1回目の現地入りの時の状況や今後の方針について伺いながら向かった。石巻中学到着後空地先生から引き継ぎを受け、会長は外の避難所の巡回視察、我々は午後の診療。終了後急ぎ日赤でのミーティングに向かう。ミーティングは夕方6時と朝7時から全部で4回出席。仙台からだと5時起きなので隣の東松島市に2部屋確保。私と事務局香美さんが朝のミーティングにそこから参加した。医療費の窓口負担、薬剤師会の指示で処方の内容をジェネリックから先発に変えている、褥瘡予防のマットレス・簡易トイレ申請すれば届く、無料給油してもらえる、要介護の老人は一旦遊学館に収容し振り分ける、感染症に関しては重症者は入院、中等症以下は専修大学に新たに救護所開設し対応する予定、小児科の要望多く日赤で24時まで対応開始するなどが主な伝達事項。会長は翌朝のエリアミーティングで前日の視察の状況を話され住吉中学と山下小学校に新たに救護所設置が決定した。2日目は昼休みの間に学校内を巡回。その後ボランティアナースから依頼のあった体育館の患者さんを診察に行く。やはり嘔吐下痢の患者、入院していた病院が閉鎖になりまわってきた人、薬が流された人などなどまだまだ把握できてない人が多くいた。3日には蓮尾先生が急遽呼び出され昼に到着。さっそく市の保健師から依頼のあった在宅の患者さん2名往診していただいた。以降は高原先生が外の診療、蓮尾先生と私で中の診療を担当した。4日には岐阜大学精神科チーム、深部静脈血栓予防チームに入っていた。また東北大学糖尿病チームに連絡取り翌日の診療確保。その後魚橋先生が到着し引き継ぎをした後お別れした。看護師・薬剤師の方には本当にお世話になりました。後藤課長一日延期居残り。事務局森・香美さんと高原先生と4人で帰路に付いた。